


FM/AMラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書**をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

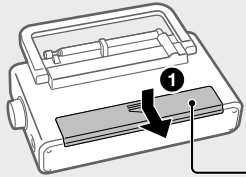
ICF-306

© 2015 Sony Corporation
Printed in China

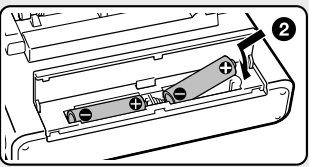


電池を入れる

ふたを開けます。



単3形乾電池を⊖側から入れます。

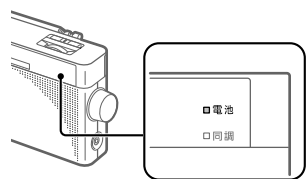


電池の交換時期について

乾電池が消耗してくると、電池ランプが暗くなったり、雑音が大きくなったりします。

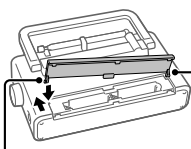
また、買い置きしたまま長時間放置した乾電池は、消耗していて使えない可能性があります。

このようなときは乾電池を2本とも新しいものと交換してください。



ふたがはずれたときは

❶ 右のツメを本体の穴に差し込みます。

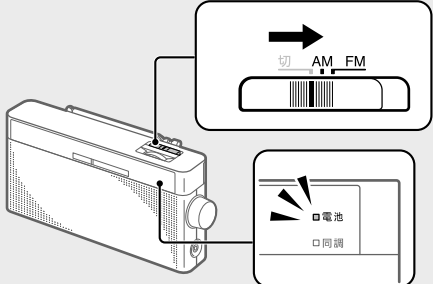


❷ 左のツメを、ふたが収まる部分の左側に引っかけ、穴に向けて滑らせます。

ラジオを聞く

1 「FM」または「AM」に切り換える

切り換えスイッチを動かします。



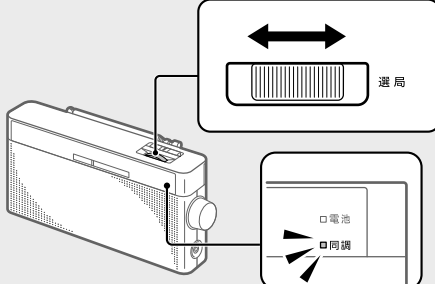
電池ランプが点灯して、電源が入ります。

ラジオの電源を切るには切り換えスイッチを「切」に動かします。



2 聞きたい放送局の周波数に合わせる

選局つまみを動かします。

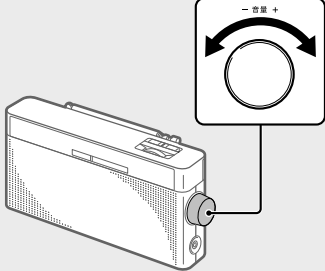


同調ランプが点灯します。

ヒント 電波の強さや外部の影響により、受信していてもランプが点灯しなかったり、受信していなくてもランプが点灯することがあります。

3 音量を調整する

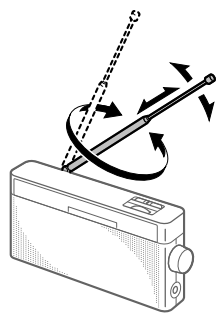
音量つまみを回します。



はっきりした音で聞くには

アンテナの向きを変えてみます。

FM放送



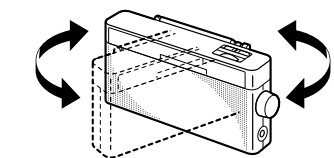
FMアンテナを長く伸ばして、受信状態の良い方向を探してください。

ご注意

アンテナの方向を調整するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、破損することがあります。



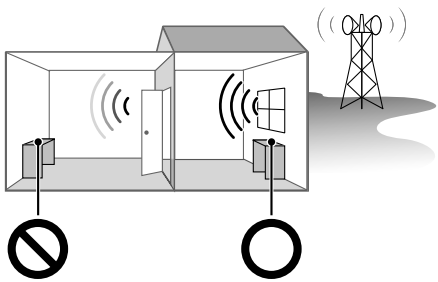
AM放送



AMアンテナは本体に内蔵されています。受信状態の良い本体の向きを探してください。

受信する場所を変えてみます。

環境によって電波状況が変わります。電波状況が悪い所ではうまく受信できないことがあります。電波状況の良い場所でご使用ください。



受信しにくい場所：
窓の遠くなど

受信しやすい場所：
窓の近くなど

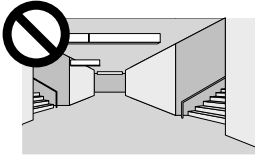
ご注意

本機に人の手が触れていると電波状況が変わることがあります。手を触れない状態で、電波状況が良い場所を探してください。

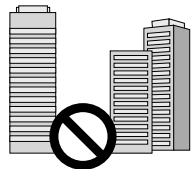
トンネル内を避ける



地下では電波が届かない



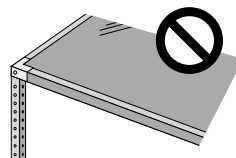
ビルの谷間を避ける



家電製品や携帯電話の近くに置かない



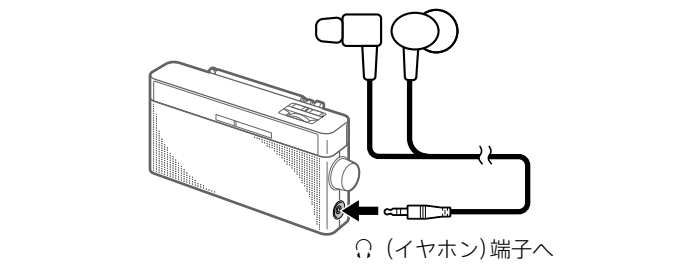
金属製の机や台の上に置かない



* 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T02-5

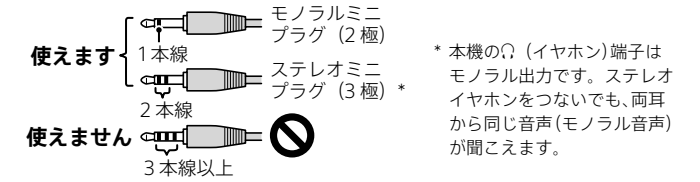
イヤホンで聞く

イヤホン(別売)をΩ（イヤホン）端子につなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。



ヒント

モノラルミニプラグ(2極)かステレオミニプラグ(3極)のイヤホンをお使いください。その他のタイプのイヤホンを使うと、ノイズが混じったり、音が出ない場合があります。



ご注意

- 歩行中または自転車、バイク、自動車などの運転中はイヤホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 踏切や駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではイヤホンを使用しないでください。
- イヤホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてもわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、イヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に付けていただくことにより軽減されます。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く
 - 風呂場など湿気の多いところ
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)
 - ほこりの多いところ
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
 - 汗をかく状況での使用
 - ぬれた手で触ったりすると、水濡れの原因になることがあります。
 - 水しぶきのかかる場所での使用

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

機銘板について

機銘板は本機の底面に表示されています。

万一故障した場合は、内部をあけずにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼いただく前に、次のことをお調べください。

音が出ない/音が小さい

- 切り換えスイッチを動かして、「FM」または「AM」に切り換えてください。
- 乾電池の＋と－の向きを正しく入れてください。
- 乾電池が消耗しています。乾電池を2本とも新しいものと交換してください。
- 乾電池の使用期限が切れている場合は、使用期限内の乾電池と交換してください。
- 音量つまみで音量を調整してください。

イヤホンから音が出ない/雑音が入る

- イヤホンをΩ（イヤホン）端子にしっかり接続してください。
- 本機に対応したプラグタイプのイヤホンをお使いください。（「イヤホンで聞く」の「ヒント」参照）

ラジオがうまく受信できない/雑音が入る

- おもて面の「はっきりした音で聞くには」をご覧ください。
- 音量つまみで音量を調整してください。

主な仕様

受信周波数

FM: 76 MHz ～ 108 MHz

AM: 530 kHz ～ 1,605 kHz

スピーカー

直径約6.6 cm、丸型8 Ω 1個

出力端子

Ω（イヤホン）端子(ø 3.5 mm ミニジャック) 1個

実用最大出力

100 mW

電源

DC 3 V、単3形乾電池 2本

電池持続時間*（単位：約 時間）

ソニー単3形(LR6) アルカリ乾電池・スピーカー使用時

放送の種類	時間
FM	100
AM	110

最大外形寸法

約190.1 mm × 97.3 mm × 51.3 mm（突起部含む）
（幅×高さ×奥行き）

質量

約400 g（乾電池含む）

付属品

ソニー単3形乾電池（お試し用）(2)
取扱説明書（本書）(1)
保証書（本書に印刷）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は周囲の温度や使用状況により、短くなる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
ラジオがうまく受信できないときは、おもて面の「はっきりした音で聞くには」をご覧ください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口(右記)にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをする、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら



- 電源を切る
- お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



下記の注意事項を守らないと
火災・感電・破裂により死亡や大けがの原因となります。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



下記の注意事項を守らないと
火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に点検や修理をご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナに触れない

感電の原因となります。

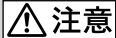


通風孔をふさがない

本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災の原因となることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



下記の注意事項を守らないと
けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にイヤホンで聞くとさらにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからポリウムを上げすぎない

突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。ポリウムは徐々に上げましょう。特にイヤホンで聞くとときにはご注意ください。

乳幼児の手の届く場所に置かない

イヤホン使用時にイヤホンコードが首に巻きつくと、窒息するおそれがあります。絶対に乳幼児の手の届く場所には本機を置かないでください。

不安定な場所に置かない

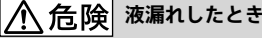
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

単3形乾電池



電池の液が漏れたときは、**素手で液をさわらないでください**。液が本体内部に残ることがあるため、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

型名：ICF-306

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口
フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口
フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
FAX(共通)0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へおたずねします。